

組織の透明化

- ▶ 組織の透明化と言え、聞こえはよいが、それだけでうまくいくほど、組織は単純なものではない。
- ▶ 民主主義を維持するためにも「透明化」は大事だが、すべてをリアルタイムに透明化すれば、かえってうまくいかない面もある。
- ▶ それに、社会にはタブーも必要である。タブーというのは、言論の自由や民主主義の観点からは否定的に扱われるが、むしろ、ある種のタブーが存在する社会の方がよい社会である。
- ▶ 皮肉なことに「平和」と結びつくのは、「平等」ではなく、「格差」。そして「平等」に結びつくのは、「戦争」なのである。
- ▶ 歴史的な分析から、広い時間的な視野からいうと、産業革命以来、格差を減らすことができる力というのは世界大戦だったということがわかる（トマス・ピケティ「21世紀の資本」）。
すると、平等を最も確実にする方法は、戦争ということになる。それが嫌なら、格差を受け入れろ、ということになり、何とも皮肉なジレンマである。